

学校コード F134310109955

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

広島国際大学 保健医療学部 救急救命学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人常翔学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室

職名・氏名 課長 ^{スエマサ ケンジ} 末政 賢二

電話番号 0823-70-4503

(夜間)

e-mail hiu.shomu@joshu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

保健医療学部

<救急救命学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

広島国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

広島国際大学
広島県東広島市黒瀬学園台555番地36

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)	任期満了により交代 (令和2年7月) (3)
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(シミズ ジュイチロウ) 清水 壽一郎 (平成29年4月)		
学科長等	(ヤスタ ヤスハル) 安田 康晴 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 救急救命学 学士(救急救命学)	保健衛生学関係(看護学関係及びハビリテーション関係を除く。)	4 年	50 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	200 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	50人 []	-人 []	50人 []	-人 []	50人 []	-人 []	50人 []	-人 []	1.09倍	-倍	1.02倍	-倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	198 []	- []	179 []	() []	() []	() []	() []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	195 []	- []	174 []	() []	() []	() []	() []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	75 []	- []	81 []	() []	() []	() []	() []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	61 []	() []	53 []	() []	() []	() []	() []	() []					
入学定員超過率 B/A					1.22		1.06		1.02		1.06						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 (-)	- (-)	54 (1)	- (-)	51 (-)	- (-)	54 (1)	- (-)	令和3年度 大学内他学部転出者4人(2年次外数) 令和5年度 大学内他学部転出者1人(1年次外数)	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] (-)	[] (-)	[] (-)	[] (-)	[] (-)	[] (-)		
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] (-)	[] (-)	54 (-)	- (-)	63 (10)	- (-)
4 年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] (-)
計			[] ()	[] ()			[-] (-)	[-] (1)	108 (-)	158 (-)	204 (11)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	61人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	108人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	心身耗弱(1人)、他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	158人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	204人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	学力不足(1人)、他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	4人	0人	就職(2人)、他の教育機関への入学(1人)、除籍(1人)
			令和5年度	0人	0人	
合計		9人		9人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内訳を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{108} = \boxed{1.85} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{158} = \boxed{0.63} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{204} = \boxed{2.94} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【令和4年度】

Table for the 2022 fiscal year (令和4年度) showing course details, credit distribution, and staff assignments across various subjects like Academic Skills, Languages, and Sciences.

【令和3年度】

Table for the 2021 fiscal year (令和3年度) showing course details, credit distribution, and staff assignments across various subjects like Academic Skills, Languages, and Sciences.

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任 数				
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教		助 手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1									兼3		
	チュートリアル	1前	1			5	2	2						
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1						1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1						1					
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				1							
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				1							
	地域創生と危機管理	1前・後	1				2		1				兼11	
	デジタルコミュニケーション	1前	1										兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1										兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1										兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1										兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1										兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1										兼5	
	スポーツ学	1前・後	1										兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1										兼11	
	小計 (15科目)	—	—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	兼36	
スタンダード科目 合計 (15科目)	—	—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	兼36		
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
	小計 (4科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人間と文化	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1										兼2
		小計 (1科目)	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2
		哲学	1・2・3前・後	2										兼1
		文学	1・2・3前・後	2										兼1
		心理学	1・2・3前・後	2										兼1
		芸術学	1・2・3前・後	2										兼1
	文化人類学	1・2・3前・後	2										兼1	
	小計 (6科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後	2										兼1
		経済学	1・2・3前・後	2										兼1
		歴史学	1・2・3前・後	2										兼1
		政治学	1・2・3前・後	2										兼1
	小計 (4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2										兼1
		数学基礎	1・2・3前・後	1										兼1
数学		1・2・3前・後	2										兼1	
物理学		1・2・3前・後	2										兼1	
化学		1・2・3前・後	2										兼1	
生物学		1・2・3前・後	2										兼1	
科学実験a		1・2・3前・後	1										兼3	
科学実験b		1・2・3前・後	1										兼4	
小計 (8科目)	—	—	2	11	0	0	0	0	0	0	0	兼8		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2										兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2										兼1	
小計 (2科目)	—	—	4	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
グローバルアドバンスド	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1									兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1									兼1	
		検定英語	2・3前・後	1									兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1									兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1									兼3	
	小計 (5科目)	—	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1										兼2
		データ解析	1・2・3前・後	1										兼2
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1										兼2
	小計 (3科目)	—	—	0	3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
体育健	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1										兼8	
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
人間と文	人間と文化a	1・2・3前・後	1										兼1	
	人間と文化b	1・2・3前・後	1										兼1	
小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
人間と社	人間と社会a	1・2・3前・後	1										兼1	
	人間と社会b	1・2・3前・後	1										兼1	
	小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と自	人間と自然a	1・2・3前・後	1										兼1	
	人間と自然b	1・2・3前・後	1										兼1	
	小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1										兼8	
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
留学生特例科目	人間と社	日本事情 a	1・2・3前・後	2									兼1	
		日本事情 b	1・2・3前・後	2									兼1	
		小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1
	グローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2									兼1	
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2									兼1	
小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
オプション科目 合計 (44科目)	—	—	6	58	0	0	0	0	0	0	0	0	兼34	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配属					兼任 負担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	科学的思考の基礎	自然災害防災論	2前・後				1	1					
		救急実務英語	2前・後	1	2								兼1
		ライフサイエンス論Ⅰ	1前・後	1									兼1
		ライフサイエンス論Ⅱ	1前・後	1									兼1
		救急統計学	3前・後	2			1						
	小計(5科目)	—	5	2	0	1	1	1	0	0	0	兼2	
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学Ⅰ	1前・後	2			1						兼1
		人体構造生理学Ⅱ	1前・後	2			1						兼2
		人体構造生理学実習	1前・後	1			1						兼2
		小計(3科目)	—	5	0	0	3	0	0	0	0	0	兼2
		回復の過程を振り返り立ち上げ	病理学	2前・後	1								
	生化学	1前・後	1									兼1	
	薬理学	3前・後	1			1						兼1	
	救急検査概論	3前・後	1			1						兼4	
	小計(4科目)	—	4	0	0	2	0	0	0	0	0	兼4	
専門分野	救急医学概論	公衆衛生学	1・2前・後	2				1					
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	0	
		生命倫理	1前・後	2			1	1					
		病院内救急医療概論	1前・後	1			2						
		救急災害システム論	2前・後	2				1					
	救急関係法規	2前・後	1				1						
	救急救命処置概論	1前・後	2				1						
	災害・救護ボランティア演習	2前・後	1					1					
	小計(6科目)	—	9	0	0	2	2	2	0	0	0		
臨床実習	救急症候・病態学	救急症候・病態生理学Ⅰ	2前・後	2			1						
		救急症候・病態生理学Ⅱ	2前・後	2			1						
		臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			1						
		臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			1						
		小計(4科目)	—	8	0	0	4	0	0	0	0	0	
医病救急医学	救急現場活動学	特定行為処置論	3前・後	2			1						
		小児科学	2前・後	2									兼1
		産婦人科学	2前・後	1									兼1
		精神医学	3前・後	1									兼1
		小計(5科目)	—	8	0	0	2	0	0	0	0	0	兼3
医外傷救急	外傷救急医学Ⅰ	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			1						
		外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			1						
		小計(2科目)	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0	
		環境障害・急性中毒学	3前・後	1			1						
		小計(1科目)	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
臨床実習	救急救命処置実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2			1	1					兼8
		救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2			1	1	1				兼8
		救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3			1	1	1				兼5
		救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3			2						兼5
		救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2			2	2	1				兼2
		救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2			2		1				兼2
		救急救命総合実習	4前・後	2			1		1				兼2
		応急手当実習Ⅰ	2前・後	1					1				
		応急手当実習Ⅱ	2前・後	1					1				
		救急システム実習Ⅰ	1前・後	1					1				
		救急システム実習Ⅱ	1前・後	1				1	1				
		救急システム実習Ⅲ	3前・後	1			3	2	2				
		救急システム実習Ⅳ	3前・後	6			4	2	2				
		国内救急救命事情	2前・後	1			1		1				
		国際救急救命学	2前・後	1			1		1				
小計(15科目)	—	25	4	0	4	2	2	0	0	0	兼8		
卒業研究	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2			4	2	2				
		卒業研究Ⅱ	4前・後	2			4	2	2				
		小計(2科目)	—	4	0	0	4	2	2	0	0	0	
専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	3前・後	2			2	1	2				
		救急救命学Ⅱ	3前・後	2			2	1	2				
		救急救命学Ⅲ	4前・後	2		2	2	2	2				
		救急救命学Ⅳ	4前・後	2		2	2	2	2				
		救急救命総合学	4前・後	2		2	3	2	2				
		救急総合学Ⅰ	2前・後	2			1						
		救急総合学Ⅱ	2前・後	2			1						
		救急総合学Ⅲ	3前・後	2			1						
		救急総合学Ⅳ	3前・後	2			1						
		救急総合学Ⅴ	4前・後	2			1						
小計(10科目)	—	14	6	0	4	2	2	0	0	0	0		
専門教育科目 合計(59科目)			—	90	12	0	5	2	2	0	0	0	兼19
救急救命学 合計(118科目)			—	111	70	0	5	2	2	0	0	0	兼66

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。

【履修方法】

- スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位
- オプション科目
必修科目：6単位
選択科目：4単位

(小計) 10単位以上
- 専門教育科目
必修科目：90単位
選択必修科目：1単位

(小計) 91単位
(『臨床実習』の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位)
- その他
選択科目：8単位

(小計) 8単位以上
(所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む)

(合計) 124単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡	使用面積： 1,460.88㎡ 1,896.32㎡ 2,394.69㎡ 使用期間 30年 (平成20年以來継続) 運動場用地売却のため(2)			
	運動場用地	185,687.51㎡ 189,896.36㎡	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ 189,896.36㎡				
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡				
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡				
合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡					
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	登記上面積の誤差のため(2)			
		116,024.62㎡ 117,137.07㎡ 116,024.62㎡ (117,137.07㎡)	0㎡	0㎡	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ 116,024.62㎡ (117,137.07㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス集約に伴う変更。 設置学部では使用しない部屋 であり、教育・研究に支障は ない。(2)			
	86室 94室	419室 453室	262室 277室	8室 11室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教育研究内容充実を図るため、専 任教員数の増加(4) 専任教員数減少に伴う変更(5)			
	保健医療学部 救急救命学科			8 9 8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 303,011冊 303,224冊 189,403冊 487,122冊 184,414冊 30,140冊 129,149冊 120,114冊 120,118冊 189,499冊	
	保健医療学部 救急救命学科	1,279 [155] 1,227 [154] 1,197 [154] 1,151 [154] 1,091 [154] (1,279 [155]) (1,227 [154]) (1,197 [154]) (1,151 [154]) (1,091 [154])	3 [2] 4 [0] (3 [2]) (4 [0])	0 [0] 2 [2] (0 [0]) (2 [2])	51 [4] 54 [4] 53 [4] 52 (51 [4]) (54 [4]) (53 [4]) (4)	9,359 9,254 9,209 9,359 9,254 (9,203)	146 144 146 (144)	146 (144)	共用分削減に伴う削減による減。こ のことに伴う教育・研究への支障はな い。(2) 洋書の減は、滅水被害を被った洋書 類の削減による。このことに伴う教 育・研究への支障はない。(3) 洋書の減は従本等の削減による。こ のことに伴う教育・研究への支障はな い。(5) 1. 学術雑誌 112種 111種 11-205冊 (47種) 1-47種 1-47種 冊数一種数に変更(2) 洋書誌類・種数修正の為(3) 電子ジャーナル 6種(7種) 15種(10種) 学術新雑誌、電子ジャーナルの減少 は購読を取りやめた為。このことに 伴う教育・研究への支障はない(2) 共用分電子ジャーナルの減少は、他学 部が購読を取りやめた為。このことに 伴う教育・研究への支障はない。(4) 学術視聴覚資料の減少は、旧版視聴覚 資料を削除した為。このことに伴う教 育・研究への支障はない。(4)
	計	1,279 [155] 1,227 [154] 1,197 [154] 1,151 [154] 1,091 [154] (1,279 [155]) (1,227 [154]) (1,197 [154]) (1,151 [154]) (1,091 [154])	3 [2] 4 [0] (3 [2]) (4 [0])	0 [0] 2 [2] (0 [0]) (2 [2])	51 [4] 54 [4] 53 [4] 52 (51 [4]) (54 [4]) (53 [4]) (4)	9,359 9,254 9,209 9,359 9,254 (9,203)	146 144 146 (144)	146 (144)	教育研究環境充実の為(2) 教育研究環境充実の為(3) 教育研究環境充実の為(4) 教育研究環境充実の為(5)
	(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席数減少は設備故障等による閑 覧室閉鎖、書架増設の為(2)	
		3,621.31㎡		507 636		253,643 244,196		収納可能冊数の増加は書架増設の 為(2)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					体育館施設以外のスポーツ施設面 積を含んだ為(4)	
	5,550.52㎡ 6,201.73㎡ 5,550.52㎡		第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート 4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	【図書購入費】 電子ジャーナル、及び図書総予算 削減の為。このことに伴う教育・ 研究への支障はない。(2) 開設年度の増加は、教育研究環境 充実の為(3) 図書総予算減少のため。このこと に伴う教育・研究への支障はない (5) 【設備購入費】 開設年度の繰越は、開設前年度に 繰入した為(3) 【教員1人当り研究費等】 学部配分予算変更のための(5)
		教員1人当り研究費等	190千円 283千円	149千円 283千円	図書購入費	738千円 783千円	549千円 449千円	433千円 817千円	
	共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	37,611千円 25,491千円	3,439千円 10,939千円	-千円	-千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、補助活動収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島国際大学										1	1	1	1	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(10期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
													倍	倍	倍
保健医療学部	4	220	-	880	-	1.06	-	1.03	1.01	-	平成10	-			
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.18	-	1.18	1.15	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36			
医療技術学科	4	100	-	400	-	0.97	-	0.94	-	令和2	平成25	同上			
臨床工学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床工学)	0.90	-	0.85	-	-	平成25	同上			
臨床検査学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床検査学)	1.03	-	1.02	0.98	令和2	平成25	同上			
救急救命学科	4	50	-	200	学士 (救急救命学)	1.09	-	1.02	-	令和2	令和2	同上			
総合リハビリテーション学部	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	-	平成25	-			
リハビリテーション学科	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	令和2	平成25	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36			
理学療法学専攻	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.13	-	1.05	1.04	令和2	平成25	同上			
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.14	-	1.12	1.10	-	平成25	同上			
言語聴覚療法学専攻	4	30	-	120	学士 (言語聴覚療法学)	0.90	-	0.86	-	-	平成25	同上			
義肢装具学専攻	4	30	-	120	学士 (義肢装具学)	0.96	-	0.87	-	令和2	令和2	同上			
リハビリテーション支援学科	4	-	-	-	学士 (義肢装具学)	-	-	-	-	-	平成25	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
義肢装具学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療福祉学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成10	-			
医療福祉学科	4	-	-	-	学士 (医療福祉学)	-	-	-	-	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止 令和4年度3年次編入学生より学生募集停止		
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4 4 4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
医療経営学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23	-			
医療経営学科	4	-	-	-	学士 (医療経営学)	-	-	-	-	-	平成23	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止		
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-			
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	-	-	平成13	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	平成27年度入学生より学生募集停止 平成29年度3年次編入学生より学生募集停止		
心理学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成27	-			
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	-	-	平成27	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止 令和4年度3年次編入学生より学生募集停止		
看護学部	4	120	3年次 10	500	-	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	-			
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	広島県東広島市 5丁目1番1号			
薬学部	6	120	-	720	-	0.78	-	0.73	-	-	平成18	-			
薬学科(6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.78	-	0.73	-	-	平成18	広島県東広島市 5丁目1番1号			
医療栄養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成26	-			
医療栄養学科	4	-	-	-	学士 (医療栄養学)	-	-	-	-	-	平成26	広島県東広島市 5丁目1番1号	令和2年度入学生より学生募集停止		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
健康科学部	4	350	-	1,400	-	0.76	-	0.74	-	-	令和2	-	
医療福祉学科	4	100	-	400	学士 (医療福祉学)	0.51	-	0.53	-	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療福祉学専攻	4												
介護福祉学専攻	4												
保育福祉学専攻	4												
医療経営学科	4	90	-	360	学士 (医療経営学)	0.89	-	0.85	-	令和2	令和2	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士 (心理学)	0.77	-	0.75	-	令和2	令和2	同上	
医療栄養学科	4	60	-	240	学士 (医療栄養学)	0.98	-	0.92	-	令和2	令和2	広島県東広島市 5丁目1番1号	
健康スポーツ学部	4	70	-	280	-	1.13	-	1.09	-	-	令和2	-	
健康スポーツ学科	4	70	-	280	学士 (健康スポーツ学)	1.13	-	1.09	-	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
大学全体	4 6	940 120	3年次 10 0	3,780 720	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、**必ず下線を引いてください。**
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、**0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。**
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画																								
届 出 時 (平成31年)	該当なし																										
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科) 【AC】 指摘事項 (改善)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 その結果、2021年度の入学定員充足率は0.63倍と改善傾向にある。今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	該当なし						
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科) 【AC】 指摘事項 (改善)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 2022年度の入学定員充足率は0.59倍と前年度より若干の減少となった。コロナ禍の中、留学生の確保が困難な状況であったが、今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
令和4年度	100	107	96	59	0.59																						

<p>設置計画履行状況 調査結果</p> <p>(令和4年度)</p>	<p>教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1" data-bbox="564 219 1075 338"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>100</td> <td>87</td> <td>79</td> <td>34</td> <td>0.34</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」を課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>令和6年度より社会学科に改組することにより、募集停止する学科であるため募集活動が難しい環境であったが、特色である地域活動をアピールし、福祉の知識のニーズが福祉施設にとどまらず行政や企業にまで広がっていることを伝えながら募集活動を行った。福祉施設と連携した独自奨学金を次年度以降も継続することを決め、さらに高大連携を見据えた高校訪問等を行った。</p> <p>令和5年度の入学定員充足率は0.34倍と医療福祉学科としては最後の募集ということもあり、前年度より大幅な減少となった。今後は社会学科として新たに募集を行い、適正な学生獲得に努める。</p> <p style="text-align: right;">履行済</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	令和5年度	100	87	79	34	0.34	<p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																													
令和2年度	100	202	184	49	0.49																													
令和3年度	100	196	176	63	0.63																													
令和4年度	100	107	96	59	0.59																													
令和5年度	100	87	79	34	0.34																													

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

保健医療学部 救急救命学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	-

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、広報活動WG、セミナー運営WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、研修会運営WG等）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和5年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック 2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供 3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年1回） 4. FD活動報告冊子の発行（隔年） 5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み 6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生授業アンケート 2. FD講演会 3. FD研修会 4. FD newsletterの発行 5. FD活動報告冊子の発行 6. 授業公開 7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備 <p>b 実施方法 実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教職員が参加できるように配慮している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生満足度調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・前期 令和4年 5月～8月 ・後期 令和4年10月～令和5年3月 ・全科目調査することとしている。（一部特別開講や旧カリキュラムで受講者が若干名の科目は除外）
--

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和4年8月24日（水）15：00～16：30
- ・テーマ：学生は授業の何を見ているか ～授業アンケートの自由記述から見えてくるもの～
- ・参加者数：123名

- ・日時：令和5年2月17日（金）15：00～16：30
- ・テーマ：振り返り（メタ認知）
- ・参加者数：91名

3. FD研修会の開催

- ・日時：令和4年9月2日（金）10：00～12：00
- ・テーマ：「アサーション」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：8名

- ・日時：令和4年9月2日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：コミュニケーション「積極的傾聴法」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：16名

- ・日時：令和4年9月9日（金）10：30～12：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ作成」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：4名

- ・日時：令和4年9月9日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：「到達目標の書き方」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：6名

- ・日時：令和5年3月1日（水）10：00～12：00
- ・テーマ：「ルーブリック活用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：7名

- ・日時：令和5年3月1日（水）14：00～16：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ」発表会
- ・対象：9月作成研修会参加者
- ・参加人数：3名

- ・日時：①令和5年3月7日（火）13：30～16：00
②令和5年3月17日（金）13：30～16：00
- ・テーマ：「マイクロティーチング」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：①2名
②2名

- ・日時：令和5年2月28日（火）13：00～14：00
- ・テーマ：「Assessor利用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：対面8名
遠隔24名
Youtube Live 14名

4. FD newsletterの発行

- ・年1回発行（令和4年11月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和4年6月～7月
授業公開数：126科目、聴講者数：194名
- ・後期 令和4年12月
授業公開数：115科目、聴講者数：182名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計結
果に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「救急救命学科」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、救急医療が多様化、高度化するとともに、救急車両の出場回数が、年々増加傾向にある中、病院前救護で適切な判断・処置ができる質の高い「救急救命士」の需要が高まっていることを背景に設置し、学部目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

1. 入学者確保

学生募集活動では、大学見学会の実施や業者主催の入試説明会への参加、高校等へ積極的広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。その結果、53名が入学した。定員を十分満たしており、本学科が進学先として一定の評価を得た結果といえる。

2. 初年次教育

大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

3. 新任教員オリエンテーション

令和5年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止として、研修の一部をオンデマンドで行い、対面での時間を短縮して実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年6月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jihe.html>

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしていると認定された。次回は、令和11年度に受審することとしている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月 2日

改正 2021年4月19日

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 各学部設置各学科の教授、准教授、講師および助教の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科1名
- ロ 教育・学生支援機構課長
- ハ その他必要に応じて教育・学生支援機構長の推薦により学長が任命した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項ロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

- イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること
- ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行
- ハ FDプログラムの開発
- ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析
- ホ 授業改善のための方策の検討
- ヘ その他FDに関する必要なこと

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から教育・学生支援機構長の意見を聴いて、学長が任命する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について速やかに教育・学生支援機構長を経て、学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 議事録の作成および保管を含め、委員会の庶務は、教育・学生支援機構で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2021年4月19日から施行し、2021年4月1日から適用する。